

TOTO

台所用シングルレバー混合栓 (メタルタッチ接続式)

TKF31UD型
TKJ31U型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

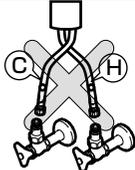
安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	<p>湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>給水・給湯パイプを切断しないでください。 この商品は施工誤差を吸収するために給水・給湯パイプを切断することはできません。配管の際は、十分注意して行ってください。</p> 
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

注意	
	<p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
	<p>修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
	<p>寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  <p>水抜コック</p>
	<p>寒冷地用 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「8 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に行ってください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>  <p>水抜コック</p>

2

仕様

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	0~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

3

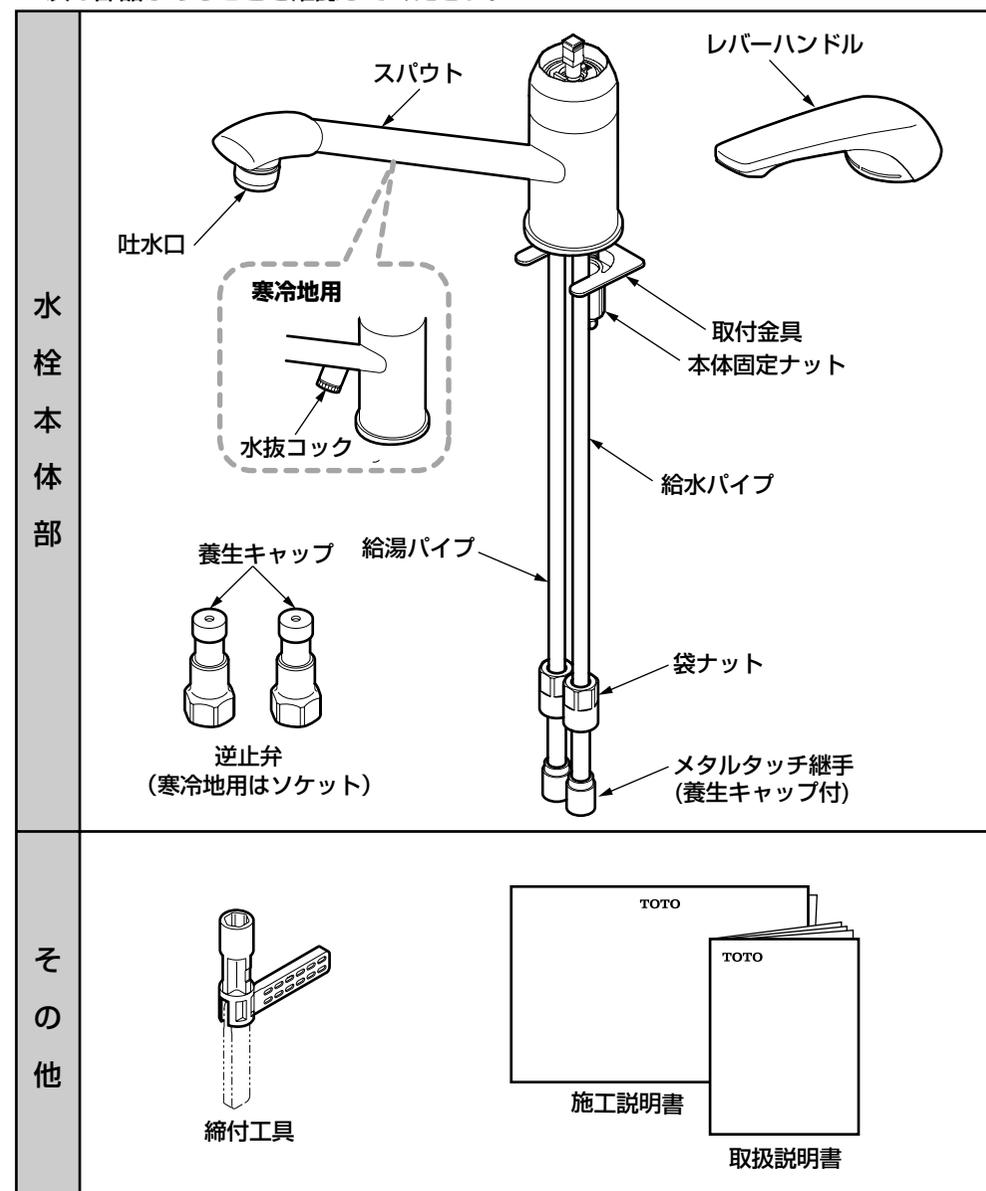
取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

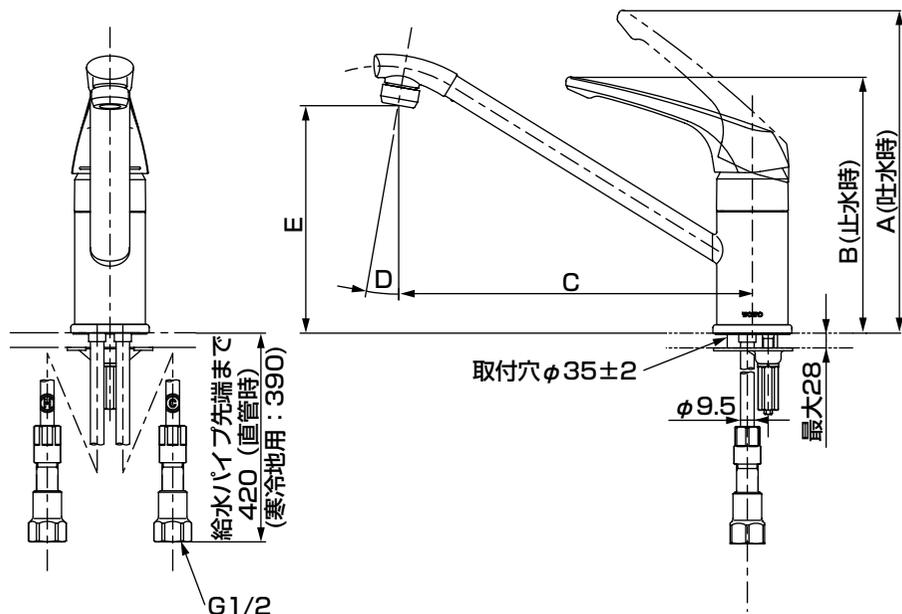


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5

完成図

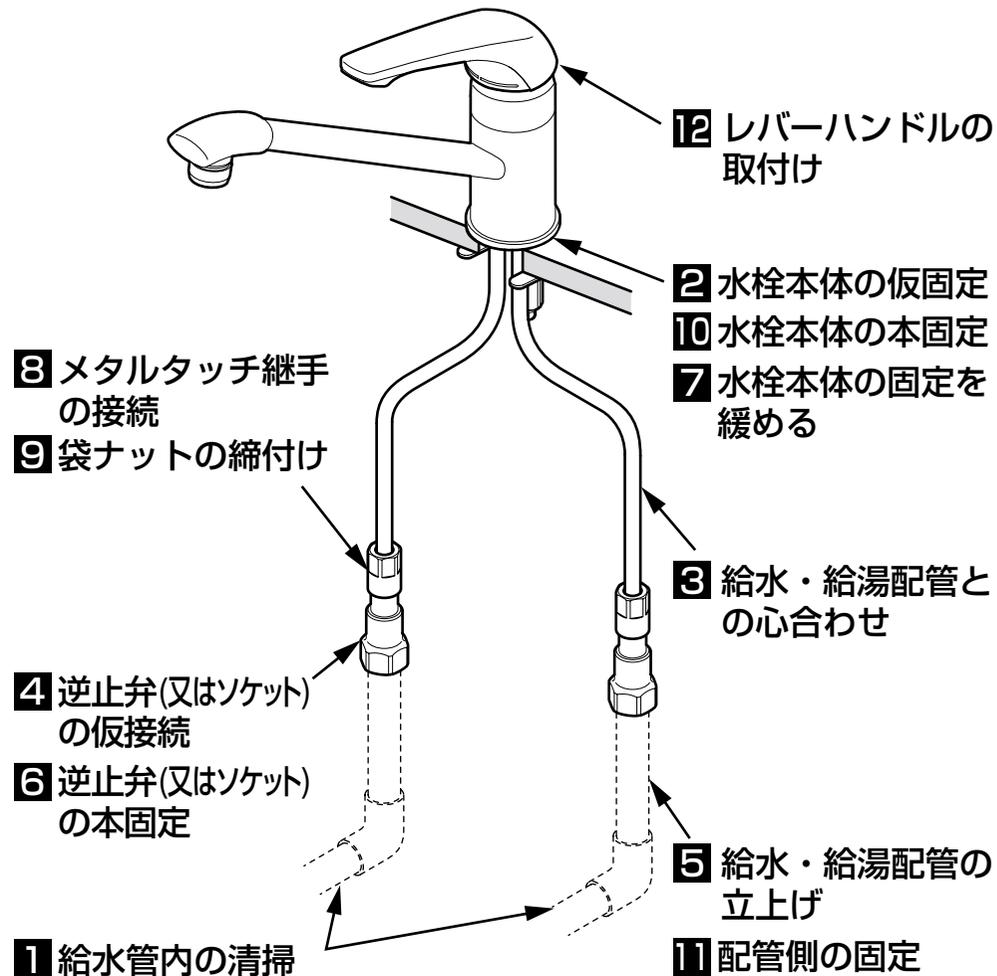
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



	A	B	C	D	E
TKF31UD型	223	177	260	5°	150
TKJ31UD型	223	177	247	10°	157
TKJ31UF型	219	183	240	10°	150

6-1

施工手順



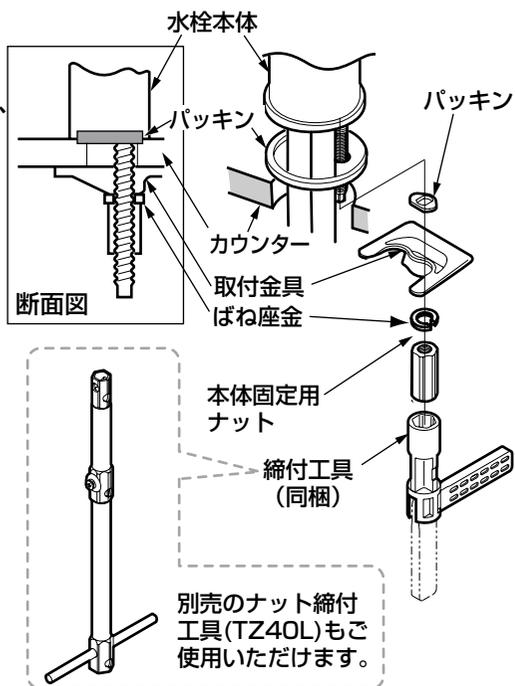
1 給水管内の清掃

取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

2 水栓本体の仮固定

- ①水栓取付穴周囲の汚れを取る。
- ②給水・給湯パイプを取付穴へ差し込み、水栓本体が正面を向くようにする。
- ③パッキン、取付金具、ばね座金、本体固定用ナットの順に差し込み、締付工具で仮固定する。

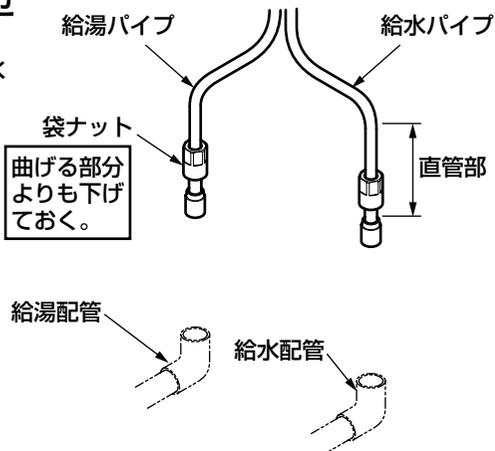


注意

- 本体固定用ナットを同梱の締付工具で仮固定してください。
- 水栓本体下のパッキンの取付位置を間違えないように接続してください。
- 水栓本体が取付穴の中心にくるように仮固定してください。

3 給水・給湯配管との心合わせ

水栓本体の給水・給湯パイプを曲げて、給水・給湯配管の心に合わせる。

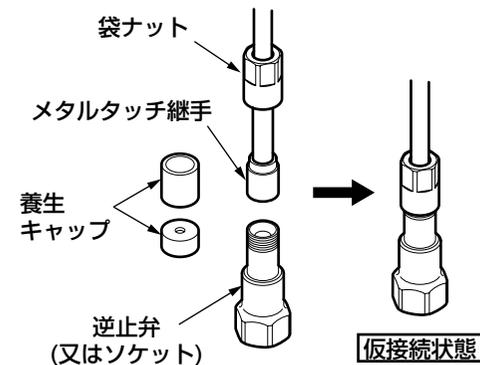


注意

- 給水・給湯パイプを切断しないでください。
- できるだけ直管部が長くなるようにしてください。
- 給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。

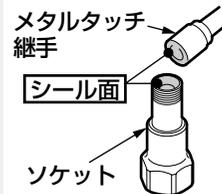
4 逆止弁(又はソケット)の仮接続

メタルタッチ継手及び逆止弁(又はソケット)についている養生キャップを外し、仮接続する。(養生キャップは回しながら外す)



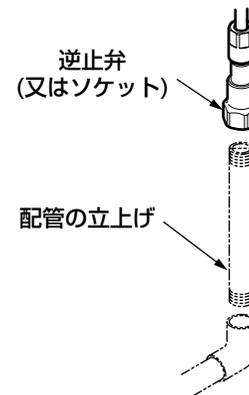
注意

シール面に傷がつかないように十分に注意してください。



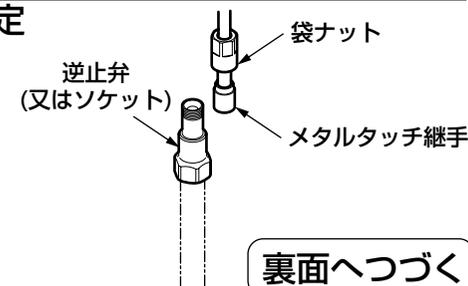
5 給水・給湯配管の立上げ

逆止弁(又はソケット)までの寸法を当り、配管を立ち上げる。



6 逆止弁(又はソケット)の本固定

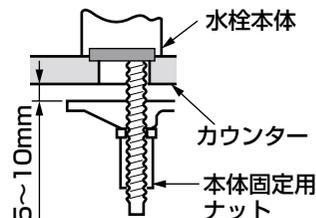
仮接続していた逆止弁(又はソケット)を取り外し、給水・給湯配管にねじ込み、固定する。



7 水栓本体の固定を緩める

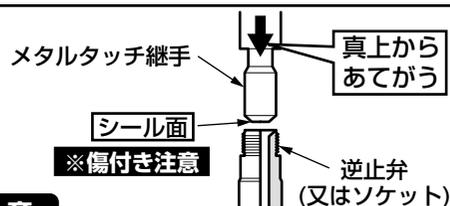
本体固定用ナットを5~10mm緩めて、水栓本体が上に動く状態にする。

- ※次に行う、メタルタッチ継手接続の前準備です。
- ※樹脂管など動く配管の場合は、水栓本体を緩める必要はありません。



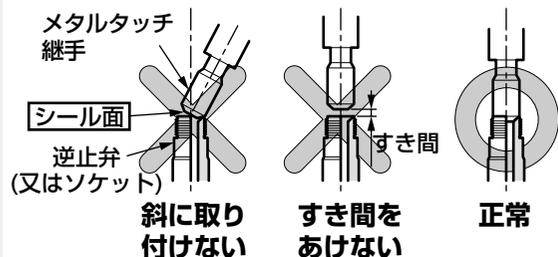
8 メタルタッチ継手の接続

メタルタッチ継手の接続は、水栓本体を少し上に押し上げながら(動く配管の場合は下に押し下げながら)、逆止弁(又はソケット)のシール面に確実にあてがう。



注意

メタルタッチ継手は、逆止弁(又はソケット)の真上から降ろすようにあてがい、**シール面に傷がつかないように十分に注意してください。** 傷が付くと水漏れするおそれがあります。



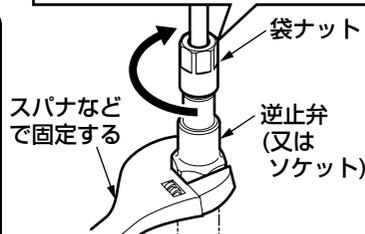
9 袋ナットの締付け

逆止弁(又はソケット)に袋ナットを確実にねじ込む。

注意

袋ナットの締付トルクは20~25N・m(200~250kgf・cm)を推奨します。測定器具がない場合は、メタルタッチ継手のシール面が確実に当たるまで手締めを行った後、さらに工具で45°以上締め付けてください。締め付けが不足すると水漏れのおそれがあります。

手でしっかり、確実に締め、さらに工具で45°以上回して確実に締め込む。

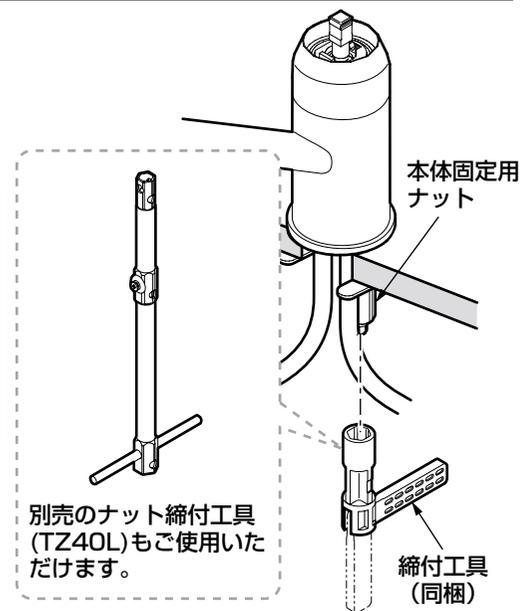


10 水栓本体の本固定

本体固定用ナットを締付工具で確実に締め付け、固定する。

注意

- 本体固定用ナットを同梱の締付工具又は別売の締付工具(TZ40L)で確実に固定してください。
- 水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。



11 配管側の固定

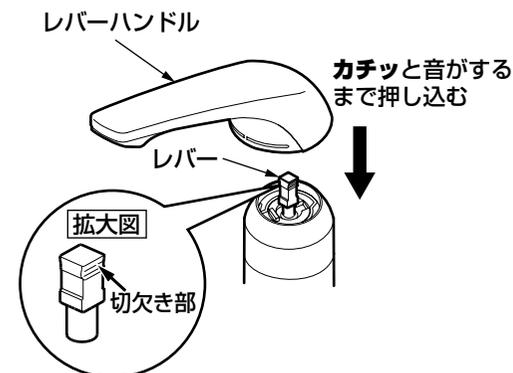
配管が固定されていない場合は、配管が動かないよう確実に固定する。

12 レバーハンドルの取付け

- ①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- ②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向に注意してください。レバーの切欠きは**両サイド**にあります。



7

使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分ご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じることがあります。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。 この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたしているため、故障ではありません。
お使いはじめに比べて、しばらくご使用されると、ハンドル操作が重く感じることがあります。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

8

寒冷地用の水抜き方法

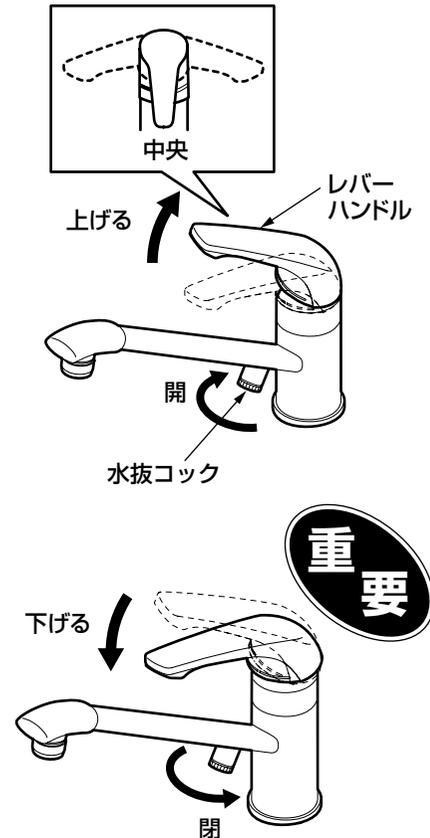
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓を開ける。

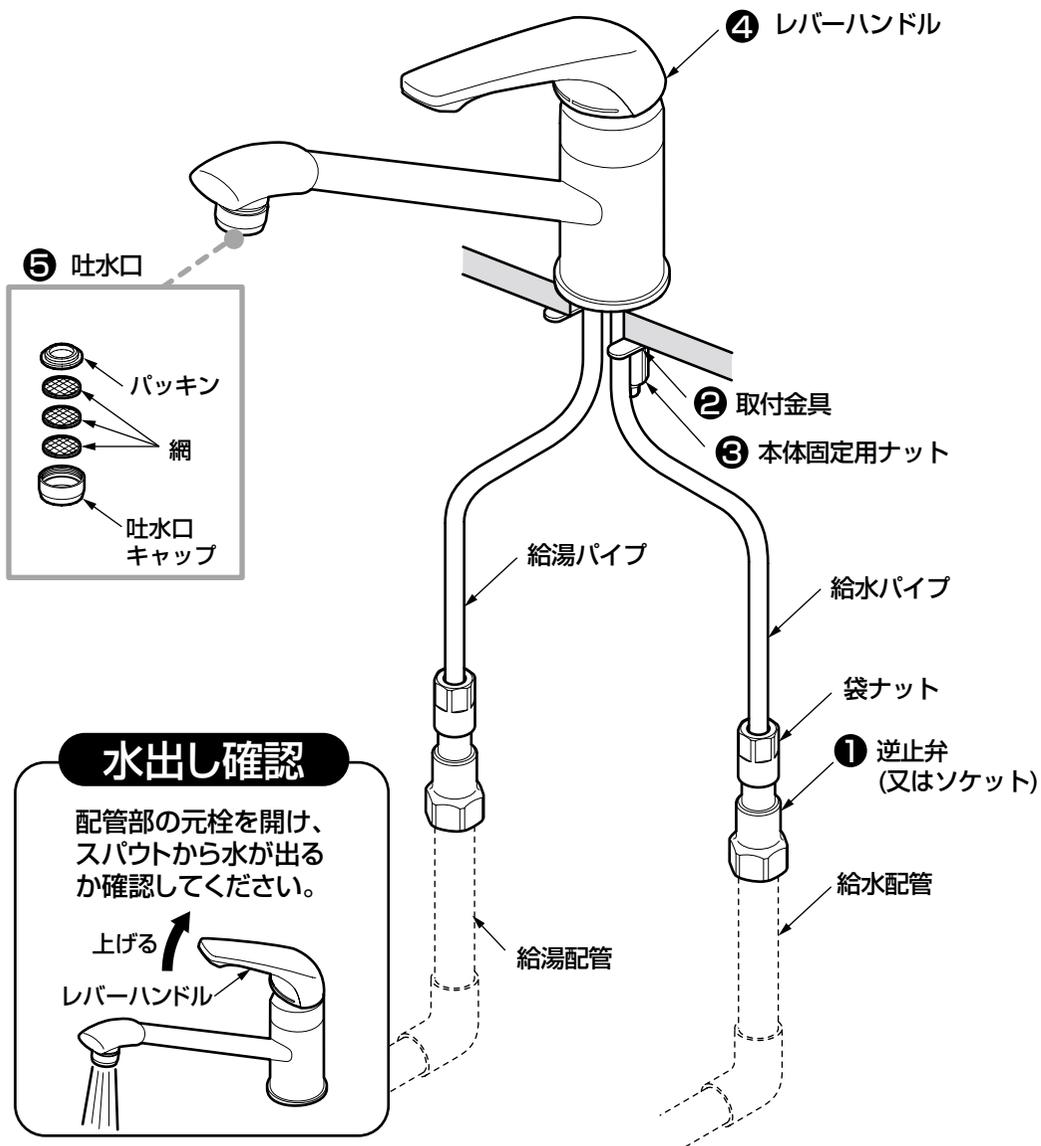
2. レバーハンドルを中央位置で上いっぱい上げ、水栓内の水を抜く。

3. 水抜コックを開ける。

4. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下へいっぱい下げ、
(水が出ない状態)



取付けが完了した後、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、
スパウトから水が出る
か確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① メタルタッチ継手と逆止弁(又はソケット)はしっかり取り付けられていますか？

↳ 6.3 - ⑧「メタルタッチ継手の接続」参照
⑨「袋ナットの締付け」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② 取付金具の緩みはないですか？

③ 本体固定用ナットは固定されていますか？

↳ 6.3 - ⑩「水栓本体の本固定」参照

④ レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6.3 - ⑫「レバーハンドルの取付け」参照

流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑤ 吐水口のごみづまりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。

元栓は開いていますか？

↳ 元栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。